

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	ロービジョン学 21n209		担当教員 (実務経験)	川岸 寿幸 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照	
対象年次・学期	2年・後期		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	ロービジョンケアを行う上で視能訓練士に必要な基礎知識(ロービジョンの定義・等級判定)を習得する。また、視覚補助具について学び、どのようにロービジョン者に対しロービジョンケアを行うかを理解する。				
到達目標	ロービジョンケアを行う上で視能訓練士に必要な基礎知識と技術を理解し、将来ロービジョンケア携わることが出来る。				
テキスト・参考図書等	視能学 第3版(文光堂)、配付プリント				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	80%	①確認試験30%+定期試験50% ②ディスカッション20%		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
その他	20%				
履修上の留意事項	①2年後期に行う講義になるので、必要最低限の解剖・検査・疾患等を理解していないと授業目的に達することは厳しい。今までの講義をもう一度復習したうえで視能訓練士としてロービジョンケアに携わることがなぜ必要なのかを常に考えながら受講してほしい。②実習を行うこともあるが患者の立場に立った行動を心掛け真剣に臨むこと。③15回目の講義にディスカッションを行う。内容は「ロービジョンケアにおける視能訓練士の役割・どのようにロービジョンケアに関わりたいか」である。このディスカッションにて学生間で大いに話し合えるように知識・態度を身に付けてほしい。				
履修主題・履修内容		履修主題	履修内容		
	1	ロービジョン学各論1(川岸)	視覚障がい者数の推移とその原因疾患1		
	2	ロービジョン学各論2(川岸)	視覚障がい者数の推移とその原因疾患2		
	3	ロービジョン学各論3(川岸)	身体障害者福祉法 等級について1		
	4	ロービジョン学各論4(川岸)	身体障害者福祉法 等級について2		
	5	ロービジョン学各論5(川岸)	眼科における視能訓練士の役割		
	6	ロービジョン学各論6(川岸)	ロービジョンエイド		
	7	ロービジョン学各論7(川岸)	ロービジョンエイド		
	8	ロービジョン学総論(高橋)	眼科におけるロービジョンサービス1		
	9	ロービジョン学総論(高橋)	眼科におけるロービジョンサービス2		
	10	ロービジョン学各論7(川岸)	問題演習		
	11	遮光眼鏡について1(川岸)	遮光眼鏡の実践(ロービジョンケアの現状等)		
	12	遮光眼鏡について2(川岸)	遮光眼鏡 カラー選定の仕方・実践		
	13	臨床的ロービジョン1(佐々木)	臨床で行うロービジョン業務1		
	14	臨床的ロービジョン2(佐々木)	臨床で行うロービジョン業務2		
15	まとめ	ディスカッション「ロービジョンケアにおける視能訓練士の役割」「どのようにロービジョンケアに関わっていききたいか」			

2023年度

吉田学園医療 視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	視能矯正学Ⅱ 21n210	担当教員 (実務経験)	金谷 まり子 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務・視能矯正に従事し、当該科目の教育を行う		
対象年次・学期	2年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	4単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	30	時間数	60時間
授業目的	視能矯正学の知識と技術を習得し、視能訓練士として正しい診断、治療を導きだせる為の正しい検査法とを習得する。				
到達目標	視能矯正学の概要・理論と実際を習得し、論じ、実践することができる。				
テキスト・参考図書等	視能学 第3版(文光堂)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)、視能矯正マニュアル 改訂版(メディカル葵出版)、視能矯正学 改訂第3版(金原出版) 斜視・弱視診療アトラス(金原出版)、視能矯正 理論と実際(金原出版)、視能学エキスパート 視能訓練学(医学書院)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	定期試験100%		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
その他	%				
履修上の留意事項	学んできたことをもとに考え、関連付け、論じながら授業が進行する。 講義前には関連教科を復習し集中講義に備えること。メモやノートを取り復習をすること。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	眼球運動 基礎とポイント①	アメリカと日本の視能訓練士教育の違い、視能訓練士としての心構え、眼球運動検査の目的		
	2	眼球運動 基礎とポイント②	外眼筋解剖、外眼筋の作用 単眼の眼球運動(Duction)、法則、Duane synd、Brown synd、眼高底骨折、はりあい筋、ともひき筋		
	3	眼球運動 基礎とポイント③	両眼の眼球運動、共同運動(versions)、法則、むき運動、ともむき筋		
	4	眼球運動 基礎とポイント④	離反運動(よせ運動)、輻輳、開散、垂直よせ運動、回旋よせ運動		
	5	眼球運動 基礎とポイント⑤	肉眼的な観察を主とする検査、診断的向き眼位		
	6	眼球運動 基礎とポイント⑥	診断的むき眼位の検査方法・考え方 眼筋麻痺と機械的眼球運動障害の鑑別		
	7	眼球運動検査 その実際とポイント①	両眼眼球運動検査 共同性、非共同性斜視の理論と実際		
	8	眼球運動検査 その実際とポイント②	眼球運動検査 麻痺性斜視の眼球運動の検査法と知識		
	9	眼球運動検査 その実際とポイント③	眼球運動検査 見かけの外転制限と真の外転神経麻痺との鑑別、眼球運動の性状的観察		
	10	眼球運動検査 その実際とポイント④	眼球運動検査 眼筋麻痺と機械的眼球運動の鑑別診断		
	11	眼球運動検査 その実際とポイント⑤	眼球運動検査 診断的むき眼位検査の実際、眼筋麻痺、Parks 3 step testの見方と理論、Bielschowsky H. T. T. よせ運動の眼球運動検査		
	12	眼球運動検査 その実際とポイント⑥	NPC、融像幅(輻輳・開散)の理論と記載、方法と応用 矯正下と非矯正下・抑制		
	13	眼球運動検査 その実際とポイント⑦	NPC、水平△融像幅の実際・実習、器械を使つての眼球運動検査法、注視野、forced duction test		
	14	眼位 その実際とポイント①	眼位検査—検査を始める前に— 問診時、 固視視標		
15	眼位 その実際とポイント②	眼位検査(cover test—定性的眼位検査の理論と方法、Cover test(遮蔽法)の理論と方法、斜位、斜視、間歇性			

	回数	履修主題	履修内容
	16	眼位 その実際とポイント③	定性検査の内容とBF(通常、異常)、C-U test で得るべき情報
	17	眼位 その実際とポイント④	定量検査の内容と BF(通常、異常) 角膜反射を利用した検査法 - Hirschberg法, Krinsky法 その注意点
	18	眼位 その実際とポイント⑤	ACT, screen C.T、DVDと上下斜視の合併の鑑別、検出方法 Binocular fixation pattern
	19	眼位 その実際とポイント⑥	検査方法で注意すべき点
	20	斜視 スペシャルノート	両眼分離状態で光を固視目標とする各検査法
	21	眼位検査スペシャルノート (両眼分離状態での眼位検査)	Maddox rod test, Double maddox rod 回旋偏位 SOpalsy、片・両眼-knappの分類 Bielschowsky head tilt test
	22	眼位検査スペシャルノート (両眼分離状態での眼位検査)	Maddox rod test, Double maddox rod 回旋偏位 SOpalsy、片・両眼-knappの分類 Bielschowsky head tilt test
	23	眼位検査スペシャルノート (両眼分離状態での眼位検査)	Maddox rod test, Double maddox rod 回旋偏位 SOpalsy、片・両眼-knappの分類 Bielschowsky head tilt test
	24	眼位検査スペシャルノート	臨床症例の眼位、両眼視機能検査 結果の理解と解決
	25	眼位検査スペシャルノート (プリズム遮閉試験)	APCTの理論と方法、網膜対応の理論と検査法
	26	眼位検査スペシャルノート	Prism neutralization、眼位検査と両眼視機能、眼位検査とNRC、ARC
	27	眼位検査スペシャルノート	同時Prism cover test 微小斜視の理論と検査法、応用、診断と治療
	28	眼位検査スペシャルノート	Prism cover test の原理、理論、検査法復習と応用 APCT、SPCT、眼位検査実習
	29	両眼視機能検査 (両眼視機能検査の理論と実際)	Worth 4dot test と他のBF検査の中心窩融像と周辺融像の理論と検査法 9方向眼位測定法、4ΔBOT、日常視と両眼分離効果の理論と検査法
	30	両眼視機能検査 (両眼視機能検査の理論と実際)	Worth 4dot test と他のBF検査の中心窩融像と周辺融像の理論と検査法 9方向眼位測定法、4ΔBOT、日常視と両眼分離効果の理論と検査法

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	視能訓練士総論 21n211	担当教員 (実務経験)	四宮 敦志 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照		
対象年次・学期	2年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	演習・実習	授業回数(1回90分)	30	時間数	60時間
授業目的	臨床の場で必要とされる知識・技術・接遇の基本を身につける。理想とする視能訓練士のイメージを持つ。				
到達目標	臨床で視能訓練士として必要とされる教養・心構えを構築する。				
テキスト・参考図書等	視能学第3版(文光堂)、眼科検査ガイド第3版(文光堂)、視能矯正マニュアル改訂版(メディカル英出版)、視能矯正学改訂第3版(金原出版) 斜視・弱視診療アトラス(金原出版)、視能矯正 理論と実際(金原出版)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	①オリエンテーション発表20% ②提出課題20% ③協会発表20% ④小テスト20% ⑤実技評価20%		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	20%			
	その他	60%			
履修上の留意事項	発表や提出物が多いため、自ら進んで取り組むこと。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション1(四宮)	「この1年をどう過ごすか」勉強への心得		
	2	オリエンテーション2(四宮)	「理想の視能訓練士とは」B.S. KJ法を使ったグループワーク・発表		
	3	オリエンテーション3(四宮)	「理想の視能訓練士とは」B.S. KJ法を使ったグループワーク・発表		
	4	提出課題1(佐久間)	発表1		
	5	提出課題2(佐久間)	発表2		
	6	視能訓練士について1(四宮)	近未来の視能訓練士		
	7	視能訓練士について2(四宮)	日本視能訓練士協会から視能訓練士を知る		
	8	視能訓練士について3(四宮)	日本視能訓練士協会(生涯教育制度と認定視能訓練士、入会・JACOメイト、実態調査報告書、視能訓練士の生産性(診療報酬調査)、学術集会情報+地域勉強会、自由演題)グループワーク		
	9	視能訓練士について4(四宮)	日本視能訓練士協会(生涯教育制度と認定視能訓練士、入会・JACOメイト、実態調査報告書、視能訓練士の生産性(診療報酬調査)、学術集会情報+地域勉強会、自由演題)グループワーク		
	10	視能訓練士について5(四宮)	発表(生涯教育制度と認定視能訓練士、入会・JACOメイト、実態調査報告書、視能訓練士の生産性(診療報酬調査)、学術集会情報+地域勉強会、自由演題)		
	11	医療とコミュニケーション1(高野)	人間関係が楽になる方法		
	12	医療とコミュニケーション2(高野)	なりたい自分になる		
	13	医療とコミュニケーション3(高野)	コミュニケーションの目的		
	14	医療とコミュニケーション4(高野)	コミュニケーションの面白さ		
15	視能訓練士の業務とやりがい(桂野、菅野、荻瀬)	視能訓練士の業務と可能性			

	回数	履修主題	履修内容
履修主題・履修内容	16	視能訓練士の業務とやりがい(桂野、菅野、埜瀬)	視能訓練士のやりがい
	17	眼科検査の実際1(専任教員)	医療事務クラーク学科の学生の検査 準備
	18	眼科検査の実際2(専任教員)	医療事務クラーク学科の学生の検査
	19	眼科検査の実際3(専任教員)	医療事務クラーク学科の学生の検査
	20	視能矯正学概論(深井)	視能訓練士の起源、エビデンスに基づく矯正訓練
	21	視能矯正学概論(深井)	矯正訓練とは、両眼視成立のメカニズム、POS
	22	視能矯正学概論(深井)	まとめ、復習
	23	健診(出村)	「乳幼児健診と視能訓練士」、3歳児健診 意義と現状、視能訓練士の役割
	24	健診(出村)	「乳幼児健診と視能訓練士」、3歳児健診 意義と現状、視能訓練士の役割
	25	理解度チェック(専任教員)	問題演習1
	26	理解度チェック(専任教員)	問題演習2
	27	理解度チェック(専任教員)	問題演習3
	28	理解度チェック(専任教員)	問題演習4
	29	理解度チェック(専任教員)	問題解説
	30	まとめ	復習

授業科目 (科目ID)	視能訓練士総論 21n211	担当教員 (実務経験)	桂野 水那 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
対象年次・学期	2年・通年	担当教員	菅野 杏
授業形態	演習・実習	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	高野 文子 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	出村 和則 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	埜瀬 菜々子 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	深井 小久子 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	川岸 寿幸 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	佐久間 愛 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	佐藤 幸恵 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	四宮 敦志 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	松田 理恵 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	山田 正幸 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	視能矯正学実習 I 21n212		担当教員 (実務経験)	佐藤 幸恵 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務・視能矯正に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	両眼視機能への理解を深め、正確に検査とその評価ができるよう考える力と実践力を学ぶ。				
到達目標	斜視および弱視の種類と診断・治療の各論について述べることができ、各種の検査を正しく測定できる。				
テキスト・参考図書等	視能学 第3版(文光堂)、視能矯正マニュアル 改訂版(メディカル葵出版)、視能矯正学 改訂第3版(金原出版)、斜視・弱視診療アトラス(金原出版) 視能矯正 理論と実際(金原出版)、視能学エキスパート 視能訓練学(医学書院)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	80%	①定期試験50% ②実技試験30% ③小テスト20%		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
その他	%				
履修上の留意事項	授業に積極的に参加すること。講義中に単元ごと的小テストを行うので、集中して受講すること。実習終了後、確認実技試験を行う。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	斜視各論①(佐藤)	①共同性斜視 内斜視・外斜視・上下斜視		
	2	斜視各論②(佐藤)	②共同性斜視 内斜視・外斜視・上下斜視		
	3	斜視各論③(佐藤)	③共同性斜視 内斜視・外斜視・上下斜視		
	4	斜視各論④(佐藤)	①非共同性斜視 特殊斜視・麻痺性斜視		
	5	斜視各論⑤(佐藤)	②非共同性斜視 特殊斜視・麻痺性斜視		
	6	正常な両眼視機能(佐藤)	立体視 近見立体視 遠見立体視 深径覚三柱計 その他		
	7	正常な両眼視機能 眼位検査(佐久間、佐藤)	立体視検査実習 眼位検査導入		
	8	眼位検査基本①(佐藤)	①定性検査・定量検査について(遮閉試験、プリズム遮閉試験)		
	9	眼位検査基本②(佐藤)	②定性検査・定量検査について(遮閉試験、プリズム遮閉試験)		
	10	眼位検査基本③(提嶋、佐久間、佐藤)	③定性検査・定量検査実習(遮閉試験、プリズム遮閉試験)		
	11	眼位検査基本④(提嶋、佐久間、佐藤)	④定性検査・定量検査実習(遮閉試験、プリズム遮閉試験)		
	12	眼位検査基本⑤(提嶋、佐久間、佐藤)	遮閉試験以外の眼位検査1(正切尺、赤フィルター、Maddox杆等)		
	13	眼位検査基本⑥(提嶋、佐久間、佐藤)	遮閉試験以外の眼位検査2(正切尺、赤フィルター、Maddox杆等)		
	14	眼位検査基本⑦(佐藤)	回旋偏位検査について(大型弱視鏡・Maddox二重杆試験・New cyclo test 他)		
15	眼位検査基本⑧(提嶋、佐久間、佐藤)	回旋偏位検査実習(大型弱視鏡・Maddox二重杆試験・New cyclo test 他)			

授業科目 (科目ID)	視能矯正学実習Ⅱ 21n213		担当教員 (実務経験)	佐藤 幸恵 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務・視能矯正に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照	
対象年次・学期	2年・通年		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	30	時間数 60時間
授業目的	両眼視機能への理解を深め、正確に検査とその評価ができるよう考える力と実践力を学ぶ。				
到達目標	斜視および眼球運動障害の診断・治療につながる各種検査を正しく測定し、検査結果の評価ができる。				
テキスト・参考図書等	視能学エキスパート 視能訓練学(医学書院)、視能学 第3版(文光堂)、視能矯正 理論と実際(金原出版)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	90%	①定期試験50% ②実技試験40% ③小テスト10%		
	レポート	%			
	小テスト	10%			
	提出物	%			
その他	%				
履修上の留意事項	授業に積極的に参加すること。講義中に単元ごとの小テストを行うので、集中して受講すること。実習終了後、大型弱視鏡の確認実技試験を行う。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	理論と実際(佐藤)	AC/A比① 理論と実際		
	2	理論と実際(提嶋、佐藤)	AC/A比② 理論と実際 プリズム・大型弱視鏡実習		
	3	理論と実際(提嶋、佐藤)	AC/A比③ 理論と実際 プリズム・大型弱視鏡実習		
	4	理論と実際(佐藤)	AC/A比④ 理論と実際 プリズム・大型弱視鏡演習		
	5	両眼視機能検査(佐藤)	大型弱視鏡による両眼視機能測定		
	6	両眼視機能検査(提嶋、佐藤)	大型弱視鏡による両眼視機能検査実習及び演習		
	7	両眼視機能検査(提嶋、佐藤)	大型弱視鏡による両眼視機能検査実習とパープリズムによる融像検査		
	8	網膜対応検査(佐藤)	固視眼中心窩と偏位眼道づれ領の網膜対応検査について 赤ガラス法・Bagolini線状試験・Worth4灯試験 他		
	9	網膜対応検査(提嶋、佐藤)	固視眼中心窩と偏位眼道づれ領の網膜対応検査実習 赤ガラス法・Bagolini線状試験・Worth4灯試験 他		
	10	網膜対応検査(佐藤)	固視眼中心窩と偏位眼中心窩の網膜対応検査について プリズムアダプテーションテスト・残像試験 他		
	11	網膜対応検査(提嶋、佐藤)	固視眼中心窩と偏位眼中心窩の網膜対応検査実習 プリズムアダプテーションテスト・残像試験 他		
	12	網膜対応検査(佐藤)	固視眼中心窩と偏位眼中心窩の網膜対応検査(偏心固視含む)について 両眼ビズコープ試験・残像転送試験 他		
	13	網膜対応検査(提嶋、佐藤)	固視眼中心窩と偏位眼中心窩の網膜対応検査(偏心固視含む)実習 両眼ビズコープ試験・残像転送試験 他		
14	両眼視機能検査(佐藤)	融像・抑制・不等像について			

	回数	履修主題	履修内容
	15	両眼視機能検査(佐藤)	融像・抑制・不等像実習
履修主題・履修内容	16	網膜対応検査(佐藤)	まとめ 模式図、演習問題
	17	眼球運動検査(佐藤)	検査機器を用いた眼球運動検査について
	18	眼球運動検査実習(提嶋、佐久間、佐藤)	眼球運動検査実習①(Hess赤緑試験・注視野・複像検査)
	19	眼球運動検査実習(提嶋、佐久間、佐藤)	眼球運動検査実習②(Hess赤緑試験・注視野・複像検査)
	20	眼球運動検査実習(佐藤)	大型弱視鏡による9方向眼位検査について
	21	眼球運動検査実習(提嶋、佐久間、佐藤)	大型弱視鏡による9方向眼位検査実習①
	22	眼球運動検査実習(提嶋、佐久間、佐藤)	大型弱視鏡による9方向眼位検査実習②
	23	両眼視機能検査(提嶋、佐久間、佐藤)	大型弱視鏡 総合実技指導①
	24	両眼視機能検査(提嶋、佐久間、佐藤)	大型弱視鏡 総合実技指導②
	25	両眼視機能検査(提嶋、佐久間、佐藤)	大型弱視鏡 総合実技指導③
	26	両眼視機能検査(提嶋、佐久間、佐藤)	大型弱視鏡 総合実技指導④
	27	両眼視機能検査(提嶋、佐久間、佐藤)	大型弱視鏡 総合実技指導⑤
	28	眼位・眼球運動・両眼視機能 総合(佐藤)	まとめ①
	29	眼位・眼球運動・両眼視機能 総合(佐藤)	まとめ②
	30	眼位・眼球運動・両眼視機能 総合(佐藤)	まとめ③

授業科目 (科目ID)	視能矯正学実習Ⅱ 21n213	担当教員 (実務経験)	佐久間 愛 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務・視能矯正に従事し、当該科目の教育を行う
対象年次・学期	2年・通年	担当教員	提嶋 紀枝
授業形態	実習	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務・視能矯正に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	生理光学実習Ⅲ 21n214	担当教員 (実務経験)	四宮 敦志 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	視力・屈折の理論を理解し、検査の基本技術を身につける。				
到達目標	視力・屈折の理論を理解し、クロスシリンダーによる乱視矯正ができる。				
テキスト・参考図書等	視能学 第3版(文光堂)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)、新しい眼光学の基礎(金原出版)、眼科検査法ハンドブック 第4版(医学書院) 理解を深めよう 視野検査(金原出版)、理解を深めよう 視力検査 屈折検査(金原出版)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	実技試験100%		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の留意事項	①座学・実習を通して検査の基本的な理論と技術を習得すること。②検査内容・方法をしっかり把握し正確な検査ができるようになること。③履修内容について確認試験を実施し、合格した学生は実技試験を受けられる。実技試験の内容はクロスシリンダーを用いた屈折矯正である。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	他覚的屈折検査(四宮)	レフラクトメーター、瞳孔間距離 座学		
	2	他覚的屈折検査(山田)	サイプレジン点眼による調節麻痺について実習		
	3	他覚的屈折検査(四宮)	屈折矯正手術 座学		
	4	視力検査・屈折検査1(四宮、専任教員)	クロスシリンダーによる乱視矯正 実習1(検査手順)		
	5	視力検査・屈折検査2(四宮、専任教員)	クロスシリンダーによる乱視矯正 実習2(検査手順)		
	6	視力検査・屈折検査3(四宮、専任教員)	クロスシリンダー理論1		
	7	視力検査・屈折検査4(四宮、専任教員)	クロスシリンダー理論2		
	8	視力検査・屈折検査5(四宮、専任教員)	クロスシリンダーによる乱視矯正 実習3(検査手順・矯正原理)		
	9	視力検査・屈折検査6(四宮、専任教員)	クロスシリンダーによる乱視矯正 実習4(検査手順・矯正原理)		
	10	視力検査・屈折検査7(四宮、専任教員)	クロスシリンダーによる乱視矯正 実習5(応用・矯正原理)		
	11	視力検査・屈折検査8(四宮、専任教員)	クロスシリンダーによる乱視矯正 実習6(応用・矯正原理)		
	12	視力検査・屈折検査9(四宮、専任教員)	クロスシリンダーによる乱視矯正 実習7		
	13	視力検査・屈折検査10(四宮、専任教員)	クロスシリンダーによる乱視矯正 実習8		
	14	視力検査・屈折検査11(四宮、専任教員)	特殊視力、コントラスト感度、ETDRS アムスラー 座学		
15	視力検査・屈折検査12(四宮、専任教員)	まとめ			

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	生理光学実習Ⅳ 21n215	担当教員 (実務経験)	山田 正幸 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照		
対象年次・学期	2年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	視力・屈折の理論を基に、症例に適した検査技術を身につける。				
到達目標	ケースに応じた視力・屈折検査ができる。				
テキスト・参考図書等	視能学 第3版(文光堂)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)、新しい眼光学の基礎(金原出版)、眼科検査法ハンドブック 第4版(医学書院) 理解を深めよう 視野検査(金原出版)、理解を深めよう 視力検査 屈折検査(金原出版)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	①レポート(実習記録を含む)60% ②実習評価(課題発表、取組姿勢)40%		
	レポート	60%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
その他	40%				
履修上の留意事項	①座学・実習を通して検査の応用的な理論と技術を習得すること。 ②検査内容・方法をしっかり把握し正確な検査ができるようになること。 ③授業中はノートやメモをしっかりと取り総合的判断から検査ができるようになること。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	視力検査、視力・屈折検査(山田)	屈折矯正の応用 レフなし・両眼調整 座学1		
	2	視力検査、視力・屈折検査(山田)	屈折矯正の応用 臨床的な視力検査・屈折検査・再診の屈折矯正 座学2		
	3	視力検査、視力・屈折検査(山田、専任教員)	レフなし矯正、現用眼鏡・CLからの矯正1		
	4	視力検査、視力・屈折検査(山田、専任教員)	レフなし矯正、現用眼鏡・CLからの矯正2		
	5	視力検査、視力・屈折検査(山田、専任教員)	臨床的な視力検査・屈折検査・再診の屈折矯正1		
	6	視力検査、視力・屈折検査(山田、専任教員)	臨床的な視力検査・屈折検査・再診の屈折矯正2		
	7	視力検査、視力・屈折検査(山田)	屈折矯正の応用 眼鏡合わせ 座学3		
	8	視力検査、視力・屈折検査(山田)	屈折矯正の応用 ケーススタディ 座学4		
	9	視力検査、視力・屈折検査(山田、川岸)	両眼調整、眼鏡合わせ1(グループワーク)		
	10	視力検査、視力・屈折検査(山田、川岸)	両眼調整、眼鏡合わせ2(グループワーク)		
	11	視力検査、視力・屈折検査(山田、川岸)	両眼調整、眼鏡合わせ3(グループワーク)		
	12	視力検査、視力・屈折検査(山田、川岸)	両眼調整、眼鏡合わせ4(グループワーク)		
	13	視力検査、視力・屈折検査(山田、川岸)	両眼調整、眼鏡合わせ(まとめ)課題発表・ディスカッション1		
	14	視力検査、視力・屈折検査(山田、川岸)	両眼調整、眼鏡合わせ(まとめ)課題発表・ディスカッション2		
15	レンズと屈折矯正(山田)	頂間距離が与える効果、屈折力・調節力の計算 座学5			

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	視能検査実習Ⅱ 21n216		担当教員 (実務経験)	四宮 敦志 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照	
対象年次・学期	2年・通年		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	各視機能検査の基礎知識を学び、適切に検査を行える。				
到達目標	各視機能検査の知識を身につけ、適切な検査を実践できる。				
テキスト・参考図書等	視能学 第3版(文光堂)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)、現代の眼科学 改訂第13版(金原出版)、新しい眼光学の基礎(金原出版) 理解を深めよう 視野検査(金原出版)、理解を深めよう 視力検査 屈折検査(金原出版)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	①確認試験40% ②実技試験60%(眼圧、検影法)		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
その他	%				
履修上の留意事項	①座学・実習を通して理論と技術を習得すること。 ②検査内容・方法をしっかり把握しスムーズかつ正確な検査ができるようになること。 ③実技試験を実施するので、練習をすること。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	視機能検査(四宮)	房水・眼圧検査概要		
	2	視機能検査(四宮)	眼圧検査実習(ノンコン、アイケア、練習問題)		
	3	視機能検査(四宮)	眼圧検査実習(ノンコン、アイケア、練習問題)		
	4	視機能検査(四宮)	超音波検査(眼軸長Aモード・Bモード・角膜厚)、光学式眼軸長検査		
	5	視機能検査(四宮)	眼球突出、PD測定		
	6	視機能検査(四宮)	超音波Aモード、Heltel眼球突出計、デジタルPD実習		
	7	視機能検査(四宮)	超音波Aモード、Heltel眼球突出計、デジタルPD実習		
	8	他覚的屈折検査(中川)	検影法 レチノスコピーの基礎		
	9	他覚的屈折検査(中川)	検影法 球面レチノスコピー		
	10	他覚的屈折検査(中川)	検影法 球面レチノスコピー		
	11	他覚的屈折検査(中川)	検影法 乱視眼の基礎		
	12	他覚的屈折検査(中川)	検影法 乱視眼のレチノスコピー		
	13	他覚的屈折検査(中川)	検影法 乱視の応用		
	14	他覚的屈折検査(中川)	検影法 臨床応用		
15	他覚的屈折検査(中川)	検影法 臨床応用			

